



学校だより



NO.7
東京女学館小学校
令和7年10月8日

豊かな体験は人を育てる

小学校長 盛永 裕一

二年生の担任をしているとき、算数の授業でこんな一コマがありました。

各班に一立方センチメートルの積木をたくさん配りました。一〇〇〇個近くの積木です。子どもたちは必死になって数え始めました。ある班は、一〇個ずつまとまりを作って、まとまりが二こで二〇、五こで五〇と、あとで数えたとき、一目でわかるように整理したのです。

真剣に数えている中、別の班のある子が走ってきた机にぶつかり、一〇こずつのまとまりは崩れてしまいました。その班の子どもたちは怒るのではなく考えました。そして、積木を一〇こずつ小さい袋に入れ始めたのです。さらに、その袋が一〇こできたら大きな袋に入れ、一〇〇のまとまりを作ったのです。

この班の子どもたちは、一〇のまとまりが崩れた体験をきっかけとして、十や百のまとまりを袋で自ら作っていったのです。一が一〇こで一〇、一〇が一〇こで一〇〇。数学的に言くと「単位の考え」が定着した瞬間です。

二年生の夏休みの自由研究に「一〇〇〇をつくる」があります。大きな数「一〇〇〇」を何かしらの形で体験することによって、一〇〇〇の量感を養う意図があります。ある子は、一〇〇〇〇回しりとりに挑戦しました。ご家族、お友だちと一緒にしりとりをつなげていくのです。ある子は、スクランブル交差点は何人ぐらいで渡るかを調べました。ちなみに夜の夜の方が人が多く一度に一〇六五人が渡っていたそうです。またある子は、東京女学館から一〇〇〇キロメートル、一〇〇〇メートル、一〇〇〇歩はどこかを調べました。ちなみに南に一〇〇〇キロメートルは山口県下関市、一〇〇〇歩はチェコ大使館の少し先だそうです。



子どもたちが自ら体験したり、発見したりしたことは、知識や技能の定着を強固なものにします。台形の面積公式を、台形を切ったり、回したりする体験を通して、自分で導き出すことができた子は、公式を忘れても再び自ら導き出すことができるのです。その結果、次の学習や生活に思考・判断として残り、生かされるものです。

さて、本校では「つばさ」の授業や学校行事で体験を重視しています。九月に入ってから一年生は「石拾い」に出かけました。河川敷で見つけた石に、生活科の授業で装飾を施します。自分で見つけてきた石だからこそ、愛着がわき装飾のアイデアがあふれ出るのだと思います。二年生は「虫取り・梨もぎ」に出かけました。虫が苦手な子どもも、お友だちが虫を取っている姿を見て、自分もやってみようと思いがわいてくるのです。自分で採って、納得してもいだ梨は美味しいものです。三年生は二泊三日の「館山校外学習」。磯採集やうちわ作りに挑戦しました。ここでの生きた体験が、海に興味をもち魚が好きになったり、ものづくりの基礎を培うものになったりするのです。

この他にも、三年生は「店員体験」、四年生・五年生は「社会科見学」、六年生は「修学旅行」。本校では、秋だけでもこれだけの体験を積み重ねていきます。豊かな体験を通して、心豊かなおとなになってほしいと願います。

館山校外学習 (9月17日～19日)

3年生担任

まだ夏の暑さが残る中、3年生は初めての宿泊行事となる館山に向かいました。まずは伊戸での磯採集。網とバケツを持って、海の生き物を探します。子どもたちは「先生、こんなに大きなヤドカリがいたよ!」と目を輝かせながら、夢中になって取り組んでいました。

2日目は沖ノ島へ行きました。「海辺の鑑定団」の方々に案内をしていただきながら、自然豊かな島を探検しました。島の中では、様々な自然の様子を学び、貝拾いでは、自分のお気に入りの貝をたくさん見つけて、嬉しそうに持ち帰る子どもたちの姿が見られました。午後は職人の皆様のご指導のもと、世界に一つの自分だけの房州うちわを作り上げました。また、職人の皆様の繊細な作業に感動し、改めて日本の伝統のすばらしさを感じました。

3日目は、宿舎前の浜辺を散歩しました。この頃には3日間で学んだ海の生き物の名前や特徴を口にする子も多く、その姿はまるで小さな海の博士のようでした。渚の博物館におけるウミホタルの発光体験では、自分の手の中でウミホタルが動き、青白い光を放つ様子に、生き物の生命力や神秘さを感じました。

3日間天候に恵まれ、海の自然を目と耳でしっかりと感じ、集団生活の難しさを味わいながらも、友だちとの仲を深めていった3年生。帰ってきたその姿は、少しお姉さんになったように見えました。

3B 児童

わたしはいそいそ集めて、カニとヤドカリとエビをとりました。エビをとった時に、とんでいてにげそうになったので、すぐにバケツに入れました。魚もとりたけれど、とれなくてごんねでした。でも、エビがとれたのでうれしかったです。

次の日に沖ノ島へ行きました。沖ノ島では、森の中をたんけんしたり、貝ひろいをしたりして楽しかったです。たくさん貝をひろいましたが、中でもたから貝を4つも見つけることができてうれしかったです。少し大きなまき貝も見つけました。きっとその中にヤドカリが入っていたのかなと思いました。お友達がひろった貝をわたしにくれたこともうれしかったです。

お友達に入った温泉は、とても温かくて気持ちよかったです。外のお風呂は、け色がきれいに見えて楽しかったです。

夜ごはんもとてもおいしくてたくさん食べることができたし、苦手だったチーズケーキも好きになりました。

早くねるじゅんびができた日は、みんなでいろんな話ができて、とてもよい思い出になりました。

さい後の日に、魚たちにえさをあげることができたことも、うれしくて一生わすれません。

3A 児童

校外学習で楽しかったお話を二つします。1つ目は、沖ノ島のたんけんのことです。前の日の夜の集いで先生が、「地球のバームクーヘン」というものを教えてくださいました。それをたんけんで見ることができました。それは地しんの力でできたと聞いて、とてもびっくりしました。沖ノ島の海には魚の赤ちゃんが育つアマモという海草もあると教えてもらい、森と海はつながっていて、森が元気だと海もきれいになることに気づきました。石や海を通して、自然には長い時間や大きな力でできたひみつがかくれていると思いました。

2つ目は、海のはくぶつかんでウミホタルを実さいに見たことです。ウミホタルは名前を聞いた時、大きな生物を想像していましたが、実さいに見てみると、とても小さくてびっくりしました。はくぶつかんの先生が水の中に入れると、青い光を出してとてもきれいでした。小さな体なのに光を出す力をもっている生物がたくさんいるのだと感じました。この校外学習を通して、自然はたきれいなだけでなく、長い時間や大きな力でできた物語を持っていることを学びました。これからも自然を大切に、もっといろいろなことを調べてみたいです。



2年生 虫とり・梨もぎ 9月29日(月)

2年生担任

雨、曇り予報から一転、天気にも恵まれ夏のような暑さとなりました。登校した子どもたちはドキドキワクワクした気持ちで、準備も早く済ませてバスに乗り込みました。予定より早く多摩川の河川敷に到着すると、早速虫捕りに…。みんな夢中で網を振り回しました。虫とりタイムを昼食後にも延長して、かくれんぼが得意な虫たちを一生懸命探しました。こんな虫がとれた!と誇らしげに教えてくれました。広場でお弁当を食べた後は、上原園さんと梨もぎ。上原さんと農協の方のお話を真剣に聞きました。梨園では事前学習をいかして「おいしいなし」を探し、大きな梨を3つもぎ、「楽しかったね…」と話し合いながら、重い梨をリュックに背負って満足顔で帰路につきました。

またひとつ大きく成長した、2年生。ご家庭でも、虫とり・梨もぎのお話でいっぱいだったことでしょう。



2A 児童

わたしは虫とりに行く前におとうさまにカブトムシやクワガタのとり方を教えてもらったので、わたしもとれたいいなと思っていました。虫とりをする場しよについたら大きな木の方へ行って、木のはっぱをガサガサとゆらししました。でも何もいませんでした。わたしはちがう虫をとることにしました。つぎに赤トンボをねらいましたがつかまえることができませんでした。ちょうはあまり高くはとばないのでかんたんだと思っていましたが、とてもすばやくとぶので足がつかれてきました。「もうだめか。」とあきらめようとしたその時、ちょうがわたしの近くをびゅーんとおすりすぎていきました。わたしはおいかけて、上からあみをすばやくかぶせてちょうをとりました。とてもうれしかったです。虫をつかまえるのはいいけどむずかしかったけれど楽しかったです。

2B 児童

上原園さんについたら、まずにもつをおき、なしはかせがなしについて色々教えてくださいました。なしがみどりだったらまだあまくなくて、あざやかな少し赤が入ったなしはおいしい食べごろだと聞きました。わたしはなしをもぐ時、ハサミをつかうか、ねじって手でとるかだと思っていましたが、ぜんぜんちがいました。本当は、なしを上にするだけでかんたんにとることができてびっくりしました。もしもなしをもぐ時にねじってしまったら気のえだも一しよにおれてしまうのかわいーそうだと思います。あとは、なしは中国からやってきたことと、上原園にニワトリがいるのは、草を食べてくれるためということを知りました。

なしもぎをはじめて体けんしたのですが、大きくて色がすてきななしをとることができてとても楽しかったです。お家に三こもってかえてきたので家ぞくでおいしくいただきました。

1年生 石拾い 9月25日(木)

1年生担任

1週間前の天気予報は雨。お教室では、てるてる坊主をつくらなきゃね、と話していました。しかし、みんなの日頃の元気パワーがお空まで伝わったのでしょうか。次第に晴予報に変わり、当日は、秋晴れの遠足日和となりました。

秋川河川公園までは、バスで1時間半かかります。1年生にとっては初めての遠出でしたが、道中はバスレクで大盛り上がり。あっという間に到着しました。

川に着くと、さっそくお目当ての石を拾います。きれいな色の石、面白い形の石、お土産に家族に見せたい石。お気に入りの石が見つかるたびに、嬉しそうにどんどん袋に入れる子どもたち。袋もどんどん重くなり…お昼休憩の場所に戻る頃には、大荷物を運ぶのに一苦労でした。

そんなかわいい1年生が、初めての作文に挑戦しました。ぜひ、笑顔でご一読ください。

1A 児童

バスにのってあき川についたら、びっくりしました。なぜなら川がとてもきれいだったからです。わたしは、おもわず川に入りました。きもちがよかったです。もちろん、いしをひろうこともわすれません。てのひらサイズとCのいしをひろったあと、おみやげいしをさがしました。すると、キラキラひかっているいしを見つけました。さわるとざらざらしていました。もってかえろうとおもいました。かえったら、かぞくにいしのことをたくさんはなしました。



1B 児童

わたしは、すごいいしをさがしていました。さがしていると、かみなりもようのいしがあつて、うれしかったです。ほかに、きれいないしもみつけました。おべんとうは2だんべんとうで、おいしかったです。おべんとうのあとは、かわでおんせんをつくりました。さいごにおてあらいにいったとき、どんぐりがたくさんおちていたのでひろいました。かえりのバスではクイズをしました。またいきたいです。



すずかけの授業『箏曲』(9月4日～9月26日)

担当教諭

すずかけ「箏曲」の授業は、今年で25年目の節目を迎えることができました。今年度も、お箏クラブ顧問の先生ならびに、先生のお嬢様で演奏家の先生にご指導いただき、子どもたちはお稽古に励みました。

1年生は「ロバさん」に取り組み、初めて触れるお箏の音色を楽しみながら練習しました。4年生は「越天楽今様」に挑戦し、初めて伴奏を学びました。初めは「できるかな」と少し緊張した様子も見られましたが、音を合わせるうちに一体感を感じられるようになり、子どもたちの表情には大きな達成感があふれていました。

毎年、「良い楽器で、子どもの頃から本物の良さを知ってほしい」という願いを込めてお箏をお貸しくださいます、生田流箏曲松の実會家元である先生に、この場をお借りして心より御礼申し上げます。

4A 児童

2回目のお箏の授業で心に残った事は、伴奏です。理由は2つあります。1つ目はメロディーと伴奏が重なるとすごく、綺麗な音になるからです。美しい音にとっても驚きました。2つ目は、伴奏をするときに爪をつけないことです。なぜなら、いつもは爪をつけて弾いているので少し驚いたからです。私は4年生になってお箏の知識がとても増えたと思います。



4B 児童

今年は「越天楽今様」という曲をひきました。はなれている音をひくときや、音の動きが速いところがむずかしかったです。◎の印のとき、待つのを忘れがちでした。2回目の授業では、伴奏もひけて、とても楽しかったです。先生方に「音色がとても美しい」とほめていただけて、うれしいです。5年生でもよろしくをお願いします。



白菊会バザー 9月28日(日)

総括部長

気持ちの良い秋晴れの日に、白菊会のバザーが行われました。在校生はもちろん、保護者につれられた小さなお客様もたくさんいらっしゃって、会場は大賑わいでした。紙コップにお手玉を投げ入れるカップトスや魚釣り、おやつバイキング、ハーバリウム作りなど、例年大人気のお店に今年もたくさんの人が集まっていました。また、「デコ・チョコキ・ワークショップ」という、タオルや袋に文字や絵を描くコーナーも大盛況で、工夫を凝らした作品に、みんな大満足でした。食堂では会食をしながら、在校生や保護者の方が話に花を咲かせていました。企画から当日の販売、片付けまで、白菊会の方々のご尽力に、感謝の気持ちでいっぱいになりました。白菊会の皆様、本当にありがとうございました。また来年のバザーを、児童共々楽しみにしております。



10月の生活目標 「礼儀作法を正しくする」

礼儀作法は、人と人とが気持ちよく生活するために大切なものです。特に明るい気持ちのよい挨拶や丁寧な言葉遣い、最後まではっきり話すことは、生活の基本でもあります。そして、素直に「はい」と返事をする習慣も大切にしたいものです。また、近頃、友だちの名字を呼び捨てにしたり、乱暴な言葉遣いで話したりしている姿をよく見かけます。相手が不快に思う呼び方や話し方を改め、優しい言葉やきれいな言葉がたくさん聞こえる学校にしたいと思います。ご家庭でも、「礼儀作法見直し月間」としてお取り組みください。

10月の行事



「行事予定」は非公開とさせていただきます。